

## シラバス（後期）

宮崎医療福祉専門学校

授業科目	理学療法運動器評価			時間数	30
学 科	理学療法士養成学科	学 年	1 年	単 位 数	1
担当講師	本田隆広	取得資格	理学療法士		
		実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	経験年数	20 年
授業内容	① 最初にスポーツ理学療法に関連する内容を学ぶ。 ② 運動器関連疾患の検査、測定を中心に学ぶ。 ③ 検査・測定、画像の講義から1ステップ進んだ内容を実施する。				
到達目標	① 運動器疾患の概要を理解する。 ② 必要に応じた検査項目が、半分程度は表記できる。 ③ 2年次の運動器理学療法へとつながるようにする。				

## 授業計画

No	授 業 内 容
1	スポーツ外傷における運動器疾患と評価の意義。1H
2	関節弛緩性テスト、筋柔軟性テストの実施。1H
3	靭帯損傷の評価（足関節、膝関節靭帯）。2H
4	股関節の検査・測定（関節可動域、筋機能、整形外科的テスト）。2H
5	膝関節の検査・測定（関節可動域、筋機能、整形外科的テスト）。2H
6	体幹の検査・測定（関節可動域、筋機能、整形外科的テスト）。2H
7	反射検査の意味。中枢神経と末梢神経。4H
8	痛みの定義。痛みの検査。2H
9	マッスルインバランスの概論。2H
10	マッスルインバランスの評価。4H
11	肩関節疾患の検査・測定。4H
12	下肢骨折後の評価。2H
13	上肢骨折後の評価。2H
14	
15	

テキスト 参考書等	スポーツ理学療法、理学療法評価学、その他 配布プリント
成績評価及び 単位認定の方法 履修上の留意点	定期試験 小テスト 学習レポート